

令和7年度 現代の国語 シラバス

科目	現代の国語	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	2年次
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的思考や共感的理解の向上を図り、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、深く共感し、豊かに想像する力を伸ばそうとしている。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めようとしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	定期考査 定着度テスト ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	振り返りシート ポートフォリオ 活動への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	「コミュニケーションは技術だ」(読) ことばの使い分け(書) 文を整え、文をつなぐ(書) 伝わるように話そう(話・聞) 生活体験発表(話・聞、書) 説明のしかたをとらえよう(読) 論理の展開を読み取ろう(読) 「水の東西」(読)	授業・単元ごとの自己評価。 グループワークによる意見交換。 学習内容の定着度テスト。 自己の考えに関するワーク。 他者の意見を踏まえた自己改善に関するワーク。	新編現代の国語(大修館書店) 常用漢字クリア(五訂版) 授業プリント Google Forms Classroom ドライブ スライド ドキュメント
後期	「生きることと食べることの意味」(読) 絵や写真の説明をしよう(書) 料理レシピを書こう(書) 聞き取りのレッスン(聞) ミニインタビューをしよう(話・聞) 聞き取ったことをまとめよう(書) レポートを書こう(書)		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

学習内容の定着度、自身の考えの伝達、他者の意見を取り入れた自身の意見の改善など、様々な観点から評価をします。出席することが必須条件で、その上で主体的に学習活動に取り組むことが求められます。間違いを恐れず、どんどん授業に参加してください。

令和7年度 国語基礎 シラバス

科目	国語基礎	単位数 対象 部・年次	1 単位 3部自由選択
----	------	----------------	----------------

目標 常用漢字や慣用表現の意味用法、身近な文章の構成や書き方など言語基礎事項を中心に学ぶことによって、日常生活に必要な国語力を養い、生涯にわたる学習活動の礎をつくる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	義務教育段階での学習内容を含め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活で他者と円滑なコミュニケーションを図るために、相手の立場や考えを尊重しながら、自分の思いや考えを伝えたり深めたりすることができるようにする。	身の回りの言葉や文章に親しみながら言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって国語能力を向上させようとする態度を養う。
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (作文、発表など) 新聞記事などの読解	授業内での取組姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢字・語句の学習 ①常用漢字の練習プリント ②慣用表現の練習プリント (2)身近な文章の読み解き (3)作文、意見文の執筆	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成(単元毎)	・自作プリント ・身近な文章 (新聞、広告、契約書等)
後期	(1)漢字・語句の学習 ①常用漢字の練習プリント ②慣用表現の練習プリント (2)身近な文章の読み解き (3)作文、意見文の執筆		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、卒業までに使えるようになりたい常用漢字や慣用表現などを学び、小テストで定着度を確かめます。また、新聞記事や契約書などの身近な文章をもとに様々な語句や表現を学び、それらが適切に使えるようになったかを、作文や意見文の執筆を通して評価していきます。

令和7年度 小論文講座 シラバス

科目	小論文講座	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2 部	自由選択科目
目標	自分の意見や考えをまとめて適切に文章で表現する能力や、文章を的確に読み取り理解する能力を養う。現代社会の問題に興味を持ち、その内容や世論を知り、自己の考えを深める。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自分の意見や考えを伝えるための語彙力や、文章で表現するための記述力を身につける。現代社会の中で問題になっていることなどについての見識を広げる。	文章を読み、内容を的確に読み取って、自分の考えをまとめる力を身につける。自分の考えを深め、適切に文章で表現できるようになる。	自己を表現するための語彙力や表現力を身につけ、日常生活においてもその力を活用しようとする態度を養う。
評価方法	原稿用紙の使い方	小論文の内容 グループワーク	執筆した小論文の修正 単元ごとの振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1) 語彙力の向上 語彙学習プリント (2) 原稿用紙の使い方の学習 (3) 言語力の育成 (4) 意見文・小論文を書く	・ 語彙や文法の解説と演習 ・ 現代社会の問題に関する調べ学習。 ・ 自分の意見をまとめる。 ・ 他者の意見を聞く。 ・ 他者の意見を聞いたうえで自分の意見をまとめる。	・ 課題プリント
後期	(1) 漢字能力・語彙力の向上 漢字・語彙・文法学習プリント (2) 言語力の育成 (3) 現代社会の問題について考える。 (4) 小論文を書く	・ 小論文作成 ・ 小論文の修正 ・ 振り返りシート ・ 意見発表	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、課題プリントや発表、小論文作成などをおこないます。語彙力の向上、文章を書く力の育成及び向上を目標として、授業を進めます。小論文執筆までの過程に個人ワークやグループワークなどが含まれます。そのため、授業を休むと、小論文の執筆や評価に影響します。また、個人ワークではタブレットを多用します。

令和7年度 応用国語 シラバス

科目	応用国語	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	4 年次
目標	社会人として必要な国語力を身に付け、他者とのコミュニケーションの中で他者の考えを取り入れたり批評したりする活動により、自身の考えを見つめ直し言葉がもつ価値への認識を深め、社会で通用する国語力を身に付ける態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会人として必要な国語力を身に付け、適切に使用している。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域において、他者の考えを取り入れたり批評したりしながら、自身の考えを伝えたり深めたりしている。	自身の考えを伝えたり他者の考えを取り入れたりする活動を通して、言葉がもつ価値への認識を深め、社会で通用する国語力を身に付けようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・定着度テスト ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・活動への参加度

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人語彙辞典を自作する。 ・新聞やネット記事、評論や物語を正確に読み取る。 ・記事の内容を批評し、文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 ・インタビュー ・発表と相互評価 ・考えをまとめるワーク ・単元ごとの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・自作ワークシート ・国語辞典 ・漢字辞典 ・タブレット端末 ・授業に適したアプリ
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・「働くこと」「世の中で起こっている問題」について、身近にいる大人にインタビューを行う。 ・インタビュー内容を反映しながら、自身の考えをまとめる。 		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

自身の意見を記述するワークや発表、他者へのインタビューやインタビュー記事の作成など授業内課題が評価の大部分を占めます。授業へ参加して、しっかり取り組む事が求められます。これまでの教科書にそって行う授業と異なり、生徒皆さんの記述や発言、インタビューなどのパフォーマンス課題が教材となります。授業に積極的に参加し、社会人として必要な国語力やスキルを身に付けましょう。

令和7年度 文学国語 シラバス

科目	文学国語	単位数	3 単位
		対象 部・年次	1・2・3 部 3 年次

目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して社会生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深め、共感的理解や創造力や表現力を育成し、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」「書くこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わり中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げようとしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	定期考査 定着度テスト ワークシート	定期考査 パフォーマンス課題 ワークシート	振り返りシート 活動への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近・現代の短歌と俳句 ・ 物語・小説読み解きツール ・ 「山月記」 ・ 「デューク」 ・ 生活体験発表 ・ 「ころ①」 	授業・単元ごとの自己評価 グループワークによる 意見交換 学習内容の定着度テスト 自己の考えに関するワーク 他者の意見を踏まえた 自己改善に関するワーク	新文学国語（三省堂） 常用漢字クリア（五訂版） 自作プリント Google Forms Classroom Drive
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ころ②」 ・ 「文学の未来」 ・ 「バースデー・ガール」 ・ 「竹取物語——かぐや姫の昇天」 ・ 「源氏物語——北山の垣間見」 ・ 「和歌と物語」 ・ 「永訣の朝」 		Microsoft word powerpoint

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

学習内容の定着度、自身の考えの伝達、他者の意見を取り入れた自身の意見の改善など、様々な観点から評価をします。出席することが必須条件で、その上で主体的に学習活動に取り組むことが求められます。文学は、読んだ人の数だけ解釈があり、何通りもの読み方があるものです。豊かな読みにつながるように、叙述をもとに様々な解釈を出しあいましょう。

令和7年度 漢字入門A シラバス

科目	漢字入門A	単位数	1単位
対象部・年次	1・2・3部 自由選択科目		
目標	漢字の基本的な知識・技能を習得し、卒業後のあらゆる場面で正しい漢字を使って表現できるようにする。また、漢字の成り立ちや部首、熟語の構成などについても学習し、漢字に興味関心が持てるようにする。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活を送る上で必要となる漢字の基本的な知識を身につけるとともに、日常のコミュニケーションに必要な語彙を増やす。	漢字の意味等を理解し、文脈に合った漢字を選択した上で、漢字を適切に使い分ける能力を身につける。学習した漢字を、文章を書く時に適切に使用できるようにする。	漢字の部首や成り立ちに関心を持ち、積極的に活用していく態度を養う。自己の漢字能力を向上させるべく努力を重ねる。
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (意見文、創作漢字など) 実用文書の読み解き	授業内での取組姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級の演習プリント ②漢検4級の過去問演習 (2)漢字の成り立ち、部首の学習 (3)様々な文章の中での漢字の使い方	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成(単元毎)	・自作プリント ・漢検過去問題集 ・新聞、契約書等
後期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検3級の演習プリント ②漢検3級の過去問演習 (2)熟語の構成や四字熟語の学習 (3)創作漢字を考える。 (4)意見文を書く		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、漢検の演習プリントを中心に取り組み、定期的に小テストで理解度を確認します。自分が解けなかった問題は繰り返し練習をしましょう。また、漢字の読み書きだけではなく、部首や熟語の構成などにも関心を持ち、積極的に漢字学習に取り組むようにしてください。

令和7年度 漢字入門B シラバス

科目	漢字入門B	単位数	2単位
対象	部・年次	後期1年次	
目標	日本語の中核をなす漢字について、基礎的な知識・技能を獲得し、卒業後の様々な場面で活用できるようにする。また、漢字の部首や成り立ち、熟語の構成に関心を持たせるなど、生涯にわたって漢字に親しむ態度を養成する。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活を送る上で必要となる漢字の基礎的な知識を身につけるとともに、日常のコミュニケーションに必要な語彙を増やす。	実際に習った漢字を使用して、新聞記事や契約書類を読み解き、作文や意見文の執筆を行えるようにする。	漢字の部首や成り立ちに関心を持ち、生涯にわたって漢字に親しみ、積極的に活用していく態度を養う。
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (意見文、創作漢字など) 実用文書の読み解き	授業内での取組姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級・3級の演習プリント ②漢検4級・3級の過去問演習 (2)生活で使う文書の読み解き (3)作文、意見文の執筆	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成(単元毎)	・自作プリント ・漢検過去問題集 ・新聞、契約書等
後期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級・3級の演習プリント ②漢検4級・3級の過去問演習 (2)生活で使う文書の読み解き (3)作文、意見文の執筆		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、漢字能力検定の演習プリントを中心に取り組み、定期的に小テストで理解度をはかります。自分が解けなかった問題は繰り返し練習をしましょう。また、漢字の読み書きだけではなく、部首や熟語の構成などにも関心を持ち、積極的に漢字学習に取り組むようにしてください。

令和7年度 現代の国語 シラバス

科目	現代の国語	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	2年次
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的思考や共感的理解の向上を図り、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、深く共感し、豊かに想像する力を伸ばそうとしている。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めようとしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	定期考査 定着度テスト ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	振り返りシート ポートフォリオ 活動への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	「コミュニケーションは技術だ」(読) ことばの使い分け(書) 文を整え、文をつなぐ(書) 伝わるように話そう(話・聞) 生活体験発表(話・聞、書) 説明のしかたをとらえよう(読) 論理の展開を読み取ろう(読) 「水の東西」(読)	授業・単元ごとの自己評価。 グループワークによる意見交換。 学習内容の定着度テスト。 自己の考えに関するワーク。 他者の意見を踏まえた自己改善に関するワーク。	新編現代の国語(大修館書店) 常用漢字クリア(五訂版) 授業プリント Google Forms Classroom ドライブ スライド ドキュメント
後期	「生きることと食べることの意味」(読) 絵や写真の説明をしよう(書) 料理レシピを書こう(書) 聞き取りのレッスン(聞) ミニインタビューをしよう(話・聞) 聞き取ったことをまとめよう(書) レポートを書こう(書)		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

学習内容の定着度、自身の考えの伝達、他者の意見を取り入れた自身の意見の改善など、様々な観点から評価をします。出席することが必須条件で、その上で主体的に学習活動に取り組むことが求められます。間違いを恐れず、どんどん授業に参加してください。

令和7年度 言語文化 シラバス

科目	言語文化	単位数	3 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 1年次

目標 我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査 ワークシート 定着度テスト	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	振り返りシート 活動への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)「言葉の森を育てよう」 (2)「祖母が笑うということ」 (3)「生活体験発表」 (4)「いろは歌」「古文冒頭選」 (5)「枕草子」 (6)「兎のそら寝」	授業・单元ごとの振り返りシート の作成 意見交換 定着度テスト 自己の考えを表現する学習 他者の意見から自己を振り返る学習	新編言語文化(大修館書店) 常用漢字クリア(五訂版) 自作プリント Google アプリ Google ドキュメント Google Classroom Google Forms
後期	(1)「訓読のきまり」 (2)「五十歩百歩」 (3)「羅生門」 (4)「水かまきり」 (5) 百人一首 (6) NIE		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

言語文化では、文章を読み、自分が考えたことや感じたことを表現し、他者と関わりながら自己の能力を深めていく授業です。言葉に対する捉え方を見つめ直し、社会生活に必要な言語能力を身に着けることが望まれます。授業では、自分から学ぼうとする姿勢が重要です。積極的に授業に参加し、言語に関する能力を高めながら、各授業の目標を達成できるように努力しましょう。